

保健医療サービス

問題 70 事例を読んで、公的医療保険とその給付などに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

〔事例〕

大手企業の会社員Mさん(50歳)は専業主婦の妻(所得なし)と二人で生活し、年収は640万円、標準報酬月額41万円である。年次有給休暇は計画的に取得し、日常の仕事の負担は重いとは感じていなかったが、11月中旬にW病院で胃がんと診断され、12月1日に入院となった。病床は本人の希望によって有料個室とした。翌日に胃全摘術を受け、12月20日に退院した。退院前日に病院から入院医療費の総額が96万9千円となることが告げられた。

- 1 Mさんの医療費は、労働者災害補償保険から給付される。
- 2 Mさんの自己負担は、当該医療費の1割である。
- 3 Mさんの差額ベッド代は、公的医療保険からの給付の対象外となる。
- 4 Mさんの自己負担は、高額療養費制度を適用すれば、全額免除となる。
- 5 Mさんが加入する公的医療保険は、Mさんの妻が加入する公的医療保険とは異なる。

問題 71 「平成 30 年度国民医療費の概況」(厚生労働省)に基づく、2018 年度(平成 30 年度)の国民医療費に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 国民医療費は、50 兆円を超えている。
- 2 国民医療費の国民所得に対する比率は 3 %に満たない。
- 3 国民医療費の財源の内訳は、保険料の割合よりも公費の割合の方が大きい。
- 4 国民医療費は、診療種類別にみると、薬局調剤医療費の占める割合が最も大きい。
- 5 人口一人当たり国民医療費は、75 歳以上の人口一人当たり国民医療費よりも低い。

問題 72 災害拠点病院に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 24 時間対応可能な救急体制は必要ないとされている。
- 2 災害発生時、被災地外の災害拠点病院の医療従事者は、被災地に入らず待機することになっている。
- 3 各都道府県に 1 病院ずつ、全国に 47 病院が設置されている。
- 4 重篤救急患者に対応できる高度な診療機能は求められていない。
- 5 災害派遣医療チーム(DMAT)を保有することになっている。

問題 73 次の記述のうち、2014 年(平成 26 年)の医療法改正(第六次)の内容として、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 地域医療支援病院制度が創設された。
- 2 医療計画に地域医療構想の策定が位置づけられた。
- 3 特定機能病院制度が創設された。
- 4 地域的単位として、新たに区域(医療圏)が創設された。
- 5 療養型病床群の設置が制度化された。

問題 74 患者の治療方針の決定に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 肝臓がんと診断を受けたAさん(66歳)は、インフォームドコンセントとして、検査結果の内容と今後の治療方針について医師から説明を受け、治療に同意した。
- 2 終末期にあるBさん(52歳)の家族は、インフォームドチョイスとして、本人に気付かれないように主治医と治療方針を決定した。
- 3 小児がん患者のCちゃん(11歳)の保護者は、インフォームドアセントとして、本人の意思を確認せずに終末期医療における延命医療の拒否を医師に伝えた。
- 4 終末期にあるDさん(78歳)と家族と医療従事者は、パターンリズムモデルに従って、繰り返し治療選択について話し合い、意思決定を行った。
- 5 E医師は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の進行したFさん(48歳)の意思を推測し、心肺停止時に心肺蘇生措置そせいをしない旨をリビングウィルとしてカルテに記載した。

問題 75 次の記述のうち、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が行うとされる業務として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 理学療法士が、入院患者の生命維持管理装置を操作する。
- 2 理学療法士が、脳梗塞後遺症の患者に歩行訓練を行う。
- 3 作業療法士が、リハビリテーション中に気分不良を訴えた患者に点滴をする。
- 4 作業療法士が、看護師の指導の下で外来患者の採血をする。
- 5 言語聴覚士が、在宅患者の胃ろうチューブの交換を行う。

問題 76 事例を読んで、G医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)によるHさんの経済的な不安への対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Hさん(48歳)は、企業に勤務する会社員で、専業主婦の妻(46歳)と大学生の長男(20歳)の3人暮らしである。2週間前に脳梗塞を発症し、現在、急性期病院に入院中である。主治医から、重度の麻痺により今後は歩行が困難になるため、来週リハビリテーション病院に転院し、3か月ほどのリハビリテーション治療が必要であることを告げられた。転院等の相談のためにG医療ソーシャルワーカーが紹介された。G医療ソーシャルワーカーは、「医療費及び生活費などの経済的なことが心配です」と訴えるHさんに具体的な情報を提供した。

- 1 転院前に障害年金を受給できることを説明する。
- 2 介護保険の要介護認定を受ければ、生活費が支給されることを説明する。
- 3 療養の給付により医療費の一部負担金が全額免除されることを説明する。
- 4 勤務先から入院中の休業に対して報酬が支払われていなければ、傷病手当金を受給できることを説明する。
- 5 特別児童扶養手当を申請すれば、支給されることを説明する。